



あ 明けましておめでとうございます~2024^{ねん}年もよろしくお^{ねが}願いします~

今年度より^{ねん}年2回のCILたちかわ^{つうしん}通信発行となり、通信では初めての新年のご挨拶をさ^{いた}せて頂きます。

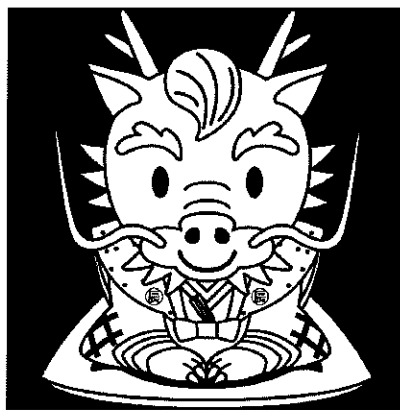
理事長^り職^じを1年以上^{ねん}務めさせて頂き、ようやく^{かく}各種事業や、^{かん}管理業務の流れが見えて参^まりました。それと同時に、たくさんの方に支^かえて頂きながら、自立生活センターとしての^か活動が成り立っている事、改^あめて深^ふく実感^{じつ}する事が出来る1年でした。

経済的^{けい}虐待^{ざい}で被害^ひにあわれた方々への補償^ほは継続中ではありますが、今後^{こん}も真摯^{しん}に対応^{たい}して参^まります。

昨年^さは、とても自立生活センターらしく^に入所施設^いから地域生活^ちへ移行^いする方の直接的な^し支援^{えん}をさせて頂く機会^きを得る事が出来ました。

不動産会社^ふを通じての部屋探^へしから、制度・サービ^{せい}ス調整^{てい}等に^{いた}るまで、その方^かの初^はめての機会^きを共有^きしながらの準備^{じゆん}や、その中^{なか}で起きたつまづきは、まさに障害者^{しょう}の地域生活^ちの課題^かを、都度^つ突き付けられている様^{よう}でした。

その様な中^{よう}、新たな支援機関^しや地域^ちの方からの協^き力を得る事が出来、少しずつですが^す着^ち実に自立生活^じへの歩^あみを進^{すす}めています。



このように、障害^{しょう}のある仲間^{なか}達との自立生活^じの創造^{そう}を繰^くり返^かすことで、地域^ちの様々^{さま}な方と繋^つがれてきた事^{こと}を実感^{じつ}する事が出来ました。

これからも障害者^{しょう}の大切^{たい}な地域生活^ちを継続^{けい}して送^{おく}れるよう、日々^ひ活動^{かつ}に励^げんでまいりたいと思^{おも}います。

本年^{ほん}もどうぞよろしくお^{ねが}願いします。

(理事長^り 鈴木^す徳子^{のりこ})

福祉ホットライン《障害者地域自立生活支援センター事業》2023年度上半期事業報告

○相談支援の傾向

上半期の相談支援では、ご本人・ご家族、支援機関の支援者等、様々な方からご相談を頂きました。また、新規の方からのご相談も多く、電話での相談、Zoomを活用したオンラインでの面談、感染症対策を行いながらの対面での相談等、多様な形で対応しました。

身体障害のある方より入所施設を出て一人暮らしをしたいとの相談を受け、自立生活への思いを傾聴しながら実際に一人暮らしをするにあたって必要なこと等について一緒に整理するとともに、部屋探しのサポート、必要な介助内容の整理や介助サービスを利用するための事業所の調整等、地域移行に向けた支援を行いました。

また、支援機関の方より病状の回復により障害状況が変化した利用者さんがいるため本人の年齢や能力により適した障害福祉サービスの利用を提案したいとの相談を受け、ご本人・ご家族・支援者と面談して、今後の制度利用に関する情報提供、通所先の紹介等を行いました。

その他にも、住宅改修や補装具・日常生活用具支給に関わるサポート、在宅で生活されていた方の急な病状の変化による入院・退院時におけるサービス調整、差別や権利擁護に関わる相談等、実施内容は多岐に渡りました。

○立川市自立支援協議会

全体会：第1回 4月24日、第2回 10月2日、第3回 11月24日

今年度の会議は、それまでの議論や活動からの課題の共有、障害児者計画の進捗確認・各協議会や各専門部会の活動報告が行われただけではなく、新たな試みとして各部会から検討事例をあげ、全体会の特色である多職種連携を活かすため、事例について直接委員から提案、意見を出す時間が設けられるようになりました。とても有意義な時間で、直接福祉に関わらない委員の方からも様々な切り口で意見が出され、事例を出された方々にフィードバック出来る時間となっています。

またサービス利用時に厳しさを増している現状についての共有も出来る場となっており、活発な意見が出されるようになりました。

○2023年度 立川市障害者週間イベント開催

12月4日(月)～10日(日)の期間、障害者についての関心と理解を深めるとともに、障害者が社会・経済・文化・その他あらゆる分野の活動に積極的に参加する意欲を高めることを目的としたイベントを開催しました。今年のテーマは「あっ、それいいね！みんな知ってるこんなこと、私にもできるこんなこと(工夫)、やって欲しいなこんなこと(思いやり)」でした。

実行委員をはじめ、様々な方達と一緒に企画・準備を進め、今年も沢山の皆さんの参加を頂きました。

- 12/4(月)～10(日)展示会(小学生絵画、福祉団体支援機関紹介パネル) @立川市役所 多目的プラザ
- 12/5(火)「社労士による障害者の年金と労働法に関する無料相談」(要予約) @立川市役所210会議室
- 12/5(火)～7(木)11:30～13:30 福祉作業所による物品販売会 @立川市役所 多目的プラザ
- 12/10(日)午後「NHKふつうってなんだろう? えほん」読み聞かせ @立川市役所101会議室

～みんなちがってみんないい～えほんを読んでみんなで一緒に考えよう!

(櫻井 未来・鈴木 徳子)

●ちてきじぎょう 知的事業

■ひさしぶりにみんなで原宿に行こうよプログラム～ガチャガチャ何回まわせるかな?～(10月21日)

新型コロナウイルスの流行によりプログラム内容を制限して開催していましたが、今回約4年ぶりに昼食を挟んでの外出プログラムを企画しました。プログラムのリーダーを務める内山さんは、原宿が大好きです。ですが、ここ数年は新型コロナウイルスの影響でなかなか原宿に出かけられずにいました。そこで、同じく外出ができていない仲間達と一緒に外出を楽しむプログラムにしたいという意見を出してくださり、実現することができました。

内容を考える中で、原宿までの電車はどれに乗るのか、運賃はいくら必要なか等、参加者の皆さんに案内してもらうことになりました。ひとりひとりがリーダーの役割を担うことで、より主体的にプログラムに参加でき、思い出に残ると思ったからです。

プログラム当日は快晴。気温もちょうど良く、絶好のお出かけ日和となりました。土曜日の原宿はたくさんの人で賑わっており、歩くだけでも一苦労です。最初にたどり着いたのは昼食をとるレストラン。今回利用したのは「エコファームカフェ 632」というお店です。JR原宿駅から歩いて7分ほどの場所にあり、店内は広々、多目的トイレもあります。店員さんの対応も非常に慣れており、予約せず大人数で訪れた私たちを快く迎えてくださいました。ランチメニューは魚や肉、パスタやカレーなど種類豊富で、お手頃な値段で楽しむことができます。ゆったりとしたランチタイムを過ごすことができました。



ランチのあとはよいよ、今回のメインイベントである「ガチャガチャの森」に向けて出発です。目的地は竹下通りの中にあります。多くの人で賑わう中、はぐれないようゆっくりと歩みを進め、無事たどり着くことができました。参加者の方々だけではなく、事務局スタッフも一緒にそれぞれ好きなガチャガチャを回しました。1,000円の予算内で、安いガチャガチャをたくさん回すもよし、ちょっとお高めめのガチャガチャを厳選するもよし。皆さん真剣な眼差しで、時間ギリギリまでどれを回そうか悩んでいました。

最後は立川駅に帰ってきて、振り返りとゲットしたガチャガチャを発表し合いました。大好きなキャラクターや動物を選んだ方もいれば、実用的なグッズを選んだ方もいたり、好みが分かれています。帰ってきた皆さんの顔は、1日たっぷり遊んで疲れたような、でもどこか充実感のある素敵な表情をされていました。久しぶりの1日外出プログラムは、みんなで昼食を囲み、ガチャガチャのドキドキ感を味わい、様々な楽しみ方ができた盛りだくさんの内容となりました。最後にリーダーの感想を記載します。

リーダー(内山さん)の感想: 表参道を歩いたり、お昼ご飯をみんなで食べて、ガチャガチャをやったのが楽しかった。みんなも楽しそうだった。みんなにリーダーをやってもらって、みんなが聞いてくれて、やってくれたことが嬉しかった。電車に乗って出かけるプログラムは久しぶりだったけどやってよかった。前によくヘルパーさんと行ったことがあるので覚えていた。駅やお店などがだいぶ変わっていた。人が多くて歩くのが大変だった場所もあった。また外出プログラムを企画したい。



(金井 春奈)

じりつせいかつぶ
自立生活部 — **2023年度上半期事業報告** —
ねんどかみはんきじぎょうほうこく

■おすすめスポット通信取材 「地域福祉アンテナショップ のむすび」

今回は、2022年に立川市柴崎町にオープンした「地域福祉アンテナショップ のむすび」をおすすめスポットとして取材してきました。地域福祉アンテナショップというとまだあまり馴染みがないかもしれませんが、敢えてここで皆さんに知って頂きたいと思います。こちらは社会福祉協議会を通じて、地域の活動や交流の場として提供されているお店やスペースのことです。つまり、誰もが気軽に立ち寄り、利用できる空間です。



「地域福祉アンテナショップ のむすび」は、立川駅南口より多摩モノレール沿いに南へ徒歩6分ほどで、アクセスも良い場所にあります。ここにはスペースを借りて営業されているお店が3つあり、フラワーショップ・焼き菓子屋・おにぎり屋（※おにぎり屋のみ残念ながら2023年11月で閉店しました）が立ち並びます。

フラワーショップ「オルレア」の中には、誰もが気軽に利用できるフリースペースがあります。とてもきれいで落ち着いた空間です。焼き菓子屋「ブラウン」で購入したお菓子などを食べることもでき、喫茶スペースのようにちょっとした休憩、読書や勉強、持ち込んだパソコン作業などをすることもできます。個人で立ち寄るのであれば、予約も料金も必要ありません。



また、このスペースを借りて催しを開きたい場合には、この場を提供している竹之下さんに連絡を取り、手続きをすれば貸し切って利用することも可能です。

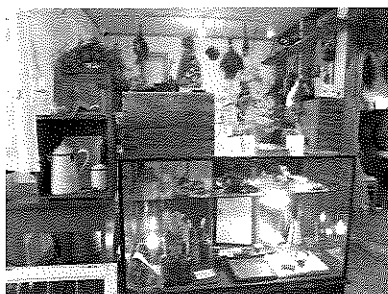
フリースペースには「やさしい本屋さん」のコーナーがあり、誰でも好きに本を手にとって読んでもよし、持って帰ってもよし、無償で本を提供しても良しの、みんなで作るフリー図書コーナーがあります。

竹之下さんは、「子どもがたまる場もなくなってしまった現代に、誰もが気軽に立ち寄れる場所を作りたい」との思いから地域福祉アンテナショップを提供されました。

このような場所があると障害のあるひとにも優しい街になりますね。 (大石 幸治)



立川駅南口より多摩モノレール沿いに南へ徒歩6分ほど



「地域福祉アンテナショップ のむすび」

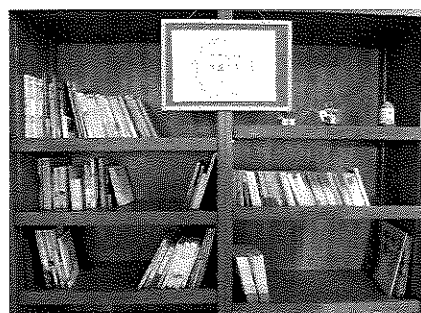
立川市柴崎町3-14-3

TEL 080-4651-7541 (竹之下さん直通)

営業時間 10:00~17:00

定休日 木・日・祝日

※2024年3月いっぱいまでの営業です



■協力員スキルアップ研修 (8月30日) 参加者8名

しーあいえるたちかわ C I L 立川では 2000 年度から、たちかわししゃかいふくしきょうぎかい いっしょ 市内のしょうちゅうがっこう ほうもん でまえこうざの活動をしています。協力員の皆様とともに、子どもたちと交流しながら、障害当事者としての思いを直接伝えることのできる大切な機会となっています。

そこで、今回の協力員スキルアップ研修では立川市社会福祉協議会にあるボランティア・市民活動センターたちかわの方にお越しいただき、わたしがでまえこうざを通じて子どもたちに伝えたいこと・知ってほしいことなどについて改めて一緒に考えてみる時間を持ちました。研修では、出前講座の歴史や目的を再確認したうえでグループワークを行いました。参加者からは、「外見からはわかりにくい障害もあることを知ってほしい」、「障害があっても幸せに生活できているということを伝えたい」等様々な意見が出され、子どもたちへ伝えていきたい内容についてそれぞれに考えを深めて共有することができました。

同じ地域で暮らす私たちのことを少しでも知ってもらえるよう、これからも一つひとつの機会を大切にしながら出前講座に取り組んでいきたいと思っております。(櫻井 未来)

■防災プログラム「台風や水害にそなえよう！～防災ゲームを通じて」(9月20日) 参加者6名

台風・ゲリラ豪雨・線状降水帯による大雨など、近年立川市がある多摩地域でも風水害の危険性が高まっています。そこで今年度のプログラムでは風水害をテーマとし、クイズやゲームも取り入れながら、住んでいる地域で気を付けることや、自分の障害ゆえに必要なことを考えられるような内容を企画しました。

参加者それぞれ雨風が強かった時に危険を感じた経験があり、その時どうすればよかったか？何を備えておけば安心だったか？に気づけるようなエピソードをたくさんお話ししていただきました。中には台風の時、実際に地域の体育館で避難をしたことがある参加者の方もいらっしゃる「避難所には何でもあると思っていただけれど、飲み物さえ配られることはなく、自分で持参しなければならなかった」といった体験談も聞きすることができました。防災カードゲーム「このつぎなにがおきるかな？」も好評でした。

「自分が今できることを、まわりの人と一緒に取り組んでいく」そんな風に思ってもらえるよう、これからも様々なテーマを模索しながら防災プログラムを開催していきます。(廣瀬 麻美)

■りらくと話そう！(10月19日) 参加者6名

ピアサポートグループ・りらく立川は、精神障害の当事者グループで毎月第3・4木曜日に活動をしています。現在主に活動しているメンバーは4名ですが、それぞれ体調や調子の波で毎回参加するのが難しい状況もあります。そのため、もう少し仲間を増やせたらとの思いから、まずはりらくを知ってもらい、参加者の人たちとの交流を図る目的で「りらくと話そう！」を企画しました。

当日は、元地域活動支援センターパティオの利用者やピア活動に興味のある方など6名が参加されました。初めに自己紹介で現在の生活の様子などを話してもらった後に、りらくの活動について説明をし、後半はりらくへの質問を受けたり、ざっくばらんに参加者それぞれの状況や思いを聞き合う時間となりました。数ヶ月前まで入院していたという参加者もいて退院時の様子を聞いたり、また、ピア活動に対する思いや仲間との交流の大切さを共有できたのではないかと思います。

後日、参加者の方にお礼状を送り、早速11月の定例会に参加して下さった方がいました。新しい仲間を迎えて、りらくの活動がさらに盛り上がりつつあるのではないのでしょうか！(清水 英子)

●その他、2023年6月から2023年9月までに開催したイベント・行事●

- ・出前講座 (第五小学校、第四中学校) ・協力員会議 & 交流会 (7月5日)
- ・I L プログラム「お宅拝見！～おじゃましますう～」(7月6日)

たちかわししょうがいしゃしゅうろうしえん
立川市障害者就労支援センター はたらこ ~ 上半期報告 ~

[1] 登録者の状況 (表参照)

上半期、新たに利用登録された方は25名(知的障害13名、精神障害9名、身体障害3名)でした。そのうち発達障害の方は3名でした。利用経路としては、直接相談があった方3名、特別支援学校高等部等新卒者が9名、定着支援事業所から5名、職業センターや職業訓練校から4名、その他福祉サービス事業所から3名、行政から1名のご紹介がありました。

就職は17件でした。内訳は、一般事務・事務補助が7件、製造補助が4件、物流関係3件、保育園や高齢者施設での補助業務2件、店舗での品出し1件でした。そのうち特例子会社への就職は7件でした。離職は7件ありました。主な離職理由は、体調不良による自己都合や転職でした。

登録者状況 (2023年9月30日)	
① 人数	277名
② 性別	男性195名 女性82名
③ 年齢	10代 14名 40代 41名
	20代 104名 50代 30名
	30代 79名 60代 9名
④ 障害	知的障害 202名 精神障害 54名
	身体障害 19名 手帳なし 2名
⑤ 状況	一般就労中 258名
	就職準備等 19名 (福祉施設通所含む)

[2] 訓練等プログラム

準備訓練プログラムについては、高齢者施設清掃実習が1名の方が参加されました。市役所庁内実習では、5名の方が参加され、その中から2名が就職されました。

[3] 利用者交流プログラム

・ 夕食会

知的障害の方を対象とした交流プログラムとして実施しています。昨年度同様、感染防止のため時間短縮は継続する一方で、人数制限は解除して実施し、12回で延べ231人(1回の平均参加人数19.3人)の方が参加されています。

・ お楽しみ会

知的障害の方を対象として9月に今年度第1回目を開催しました。24名の参加がありました。講師の先生をお呼びして、“オリジナルの手帳カバーをつくろう”というテーマで実施しました。参加者のみなさんは、思い思いに、色紙を好きな形に切り貼りしていき、自分だけの手帳を作成してもらいました。最後に全作品の品評会が行われ、大いに盛り上がりました。



お楽しみ会の様子

・ 茶話会

精神障害や発達障害の方を対象として、7月に今年度第1回を実施し、ハイブリッド形式で7名の参加がありました。今回は2回連続企画の1回目、予めテーマは設定せず、参加者から話題を出してもらいました。それぞれの働き方や職場での人間関係についての問いかけがあり、他の人の様子が聞けて参考になったとの意見が多く寄せられました。今後は参加者の希望のテーマで進めていく予定です。

川崎太郎 (川崎太郎)

生活介護事業所 えんばわ

えんばわの上半期の活動をご報告させていただきます。

5月13日(土)グリーンスプリングスにて行われた多様な人達がそれぞれの価値観を共有し交流するイベント『PARA HOOP FES!~つながろう!輪になろう!』ハートフルマルシェ 2023に今年も出店しました。メンバーさんが作成したポンポンのガーランドとヘアゴム、コットンヤーンで編んだマットを商品としました。あいにく小雨模様でしたが、メンバーさんも遊びに来てくれ、楽しい休日イベントとなりました。このような地域イベントに参加することで、これまで関わりのなかった方にえんばわのこと、自立生活センターのこと、障害のある人のことを知ってもらえたのではないかと思います。(↓ハートフルマルシェ)

その他、初めての試みもいくつか行いました。コロナの影響もあり、これまで昼ご飯を挟む外出は行っていませんでしたが、6月2日(金)はお昼時間をまたいでの外出を行いました。場所は「藤子・F・不二雄ミュージアム」です。ミニシアターや展示品などドラえもんたちに囲まれ、楽しい時間となりました。通常の活動時間より長めとなりましたが、また行きたいとの声が多く聞かれました。(↓藤子・F・不二雄ミュージアムでの昼食)



定期的な活動でも8月から毎月1回金曜午後、国立音楽大学の学生ボランティアの方々にお越したいただき、音楽を楽しむプログラムが始まりました。毎回2名の学生ボランティアさんが来て下さり、素敵な演奏を聞かせて頂いています。学生ボランティアさんたちは毎回、電子ピアノや様々な楽器を持ってきて下さるので、大荷物です。見たことのない楽器もあり、初めての音色を楽しんでいます。電子ピアノの演奏に合わせて、ベルハーモニーとい

う押すと鳴るハンドベルを使つての演奏をみんなでへ行ったり、メンバーさんたちからのリクエスト曲を演奏していただき、みんなで歌ったりと素敵な時間を過ごしています。(国立音楽大学 学生さんとの音楽活動→)

下半期も引き続き、えんばわのスローガンでもある「地域と繋がる」ことに力をいれていきたいと思つています。
※外出の際は感染対策を行い、写真撮影時以外はマスクを着用しています。(奥山 葉月)



私たちの動き (6/1~9/30)

() は担当部門名 CIL・HL・就労・えんばわ

※印はオンライン

【連絡会・委員会・連携業務】

(CIL)

- ・多摩療護園利用者・職員懇談会(6/7, 9/13)
- ・立川市第5次長期総合計画市民ワークショップ
(6/18, 7/22, 8/26, 9/30)
- ・障がいのある人もない人も暮らしやすい立川を
考える会定例会(6/21, 9/20)
- ・多摩療護園オンブズパーソン(6/22, 7/27, 8/24, 9/28)
- ・りらくオンライン病院訪問(6/22, 7/27, 8/24, 9/28)※
- ・TIL相談支援サポートグループ(6/23, 8/25)※
- ・立川市地域公共交通会議(6/28)
- ・立川市災害ボランティアネット定例会
(6/30, 7/28, 8/25, 9/29)※
- ・ホワイトラテ定例会(7/14, 8/22, 9/28)※
- ・りらく定例会(7/20, 8/17, 9/21)
- ・障がいのある人もない人も暮らしやすい立川を
考える会地区別懇談会(7/26, 9/20)
- ・立川市指定特定相談支援事業所連絡会(8/1)
- ・立川市障害者施策推進委員会(8/23)
- ・たちせいれん(9/15)

(HL)

- ・立川市障害者週間実行委員会(6/15, 7/20, 9/14)
- ・立川市地域生活支援拠点等事業コーディネーター会議
(6/22, 8/3, 24, 9/21)
- ・立川市自立支援協議会相談支援専門部会(7/14, 9/15)
- ・地域生活支援拠点事業所合同会議(8/3)

(就労)

- ・立川市自立支援協議会就労専門部会(6/20, 9/6)
- ・令和5年度 第1回ハローワーク立川主催
障害者雇用連絡会議(6/30)
- ・多摩地域障害者
就労支援事業実施団体連絡会(7/27)※
- ・立川市自立支援協議会運営会議(9/11)

【外部への見学・研修・イベント】

(CIL)

- ・立川災害ボランティアネット防災特別講演会(6/4)
- ・東京都相談支援従事者現任研修に関する
実習説明会(6/6)※
- ・JIL全国セミナー、総会(6/27, 28, 29)※
- ・東京都障害者施設等のBCP策定支援
BCP策定講座(8/22)
- ・東京都障害者虐待防止・権利擁護研修
(8/24ほかオンデマンド)※
- ・障がいのある人もない人も暮らしやすい立川を
考える会学習会(8/30)

- ・TIL・JIL関東ブロック共催学習会(8/31)※
- ・ヒューマンケア協会、CIL日野、ILみなみ
Tama主催ピア・カウンセリングオンライン
長期講座(9/1, 8, 15, 22, 29)※
- ・東京都障害者ピアサポート研修(9/8, 13)※

(HL)

- ・立川市支援区分認定調査委託事務説明会(9/14)

(えんばわ)

- ・リズム&ストリート(多摩障害者スポーツセンター
オンラインプログラム)(6/19, 7/10, 9/11)※
- ・作ってチャレンジ!レクタイム(多摩障害者スポーツ
センターオンラインプログラム)(7/4, 9/26)※
- ・アールブリュット立川~高松からの風~(9/6)

【外部からの見学・研修】

(CIL)

- ・社会福祉士実習生受け入れ
(明治学院大学、立教大学、東京学芸大学)
- ・立川市まちづくり部公園緑地課(6/22)

(えんばわ)

- ・音楽活動(国立音楽大学ボランティア受け入れ)
(8/25, 9/8)

【講師派遣】

(CIL)

- ・立教大学(6/20)
- ・JIL全国セミナー(6/27)※
- ・立川災害ボランティアネット
市民のための体験型防災講座(7/22)

★ ご寄付等、ありがとうございました ★

- ・平山 裕子 様 ・杉本 雅彦 様 ・橋本 静 様
- ・野上 利雄 様 ・小林 正子 様 ・清田 昌 様
- ・横井 智明 様 ・細金 君代 様 ・村山 綾 様
- ・野上 温子 様 ・林 のり子 様 ・原 敏起 様
- ・鴨池 敏子 様 ・石渡 和実 様 ・小黒 一希 様
- ・鈴木 嶺明 様 ・山崎 優大 様 ・山川 朝弘 様
- ・匿名 2名

特定非営利活動法人 自立生活センター・立川
〒190-0023 東京都立川市柴崎町2-10-16 材ビル2F
TEL: 042-525-0879 FAX: 042-521-3134
URL: <http://cilt.sakura.ne.jp/>
Mail: cilt@sh.rim.or.jp

